

令和2年度日本原子力学会 北関東支部 リモート若手研究者・技術者発表会 優秀発表賞について

2020年10月28日に行われた「令和2年度リモート若手研究者・技術者発表会」(オンライン・リモート方式)では、一般の部(計23件)、及び学生の部(計6件)の発表がありました。ZOOMを用いた初めての試みで、午前中に自己紹介をかねた研究のショートプレゼンテーションがあり、午後にブレイクアウトルームを活用した発表者によるプレゼンテーション審査があり、活発な議論が行われました。これらの発表の内、審査委員会の審議を経て、一般の部及び学生の部それぞれについて「最優秀発表賞」と「優秀発表賞」を決定しました。

【一般の部】

○最優秀発表賞(1件)

・廣岡 瞬 (日本原子力研究開発機構)

「機械学習を用いたMOX燃料ペレットの金相写真の画像解析」

○優秀発表賞(1件)

・佐々木 孔英 (日本原子力研究開発機構)

「Cs捕獲機能を有する高温ガス炉燃料被覆層の開発」

【学生の部】

○最優秀発表賞 (同点により2件とした)

・上原 優利乃 (茨城大学)

「水生植物を用いた放射性Csの濃縮と除去の応用」

・鈴木 碧海 (茨城大学)

「放射線照射された細胞内におけるCa²⁺イオン伝搬のライブセルイメージング」

以上